

尾竹橋公園から下流500m間で カミソリ堤防の耐震化工事



公園拡張用地全景と耐震化される堤防



**東京都の河川堤防の耐震化が遅れています
共産党都議団の追求で2年前に計画を策定**

東京都は、9月から来年の10月まで、町屋7丁目尾竹橋公園から下流500mにかけて堤防の耐震化工事を行うと発表。しかし現在も工事に入っていない。確認したところ、工事業者の入札もこれからのようです。従って工事期間は、ずれ込むこととなります。

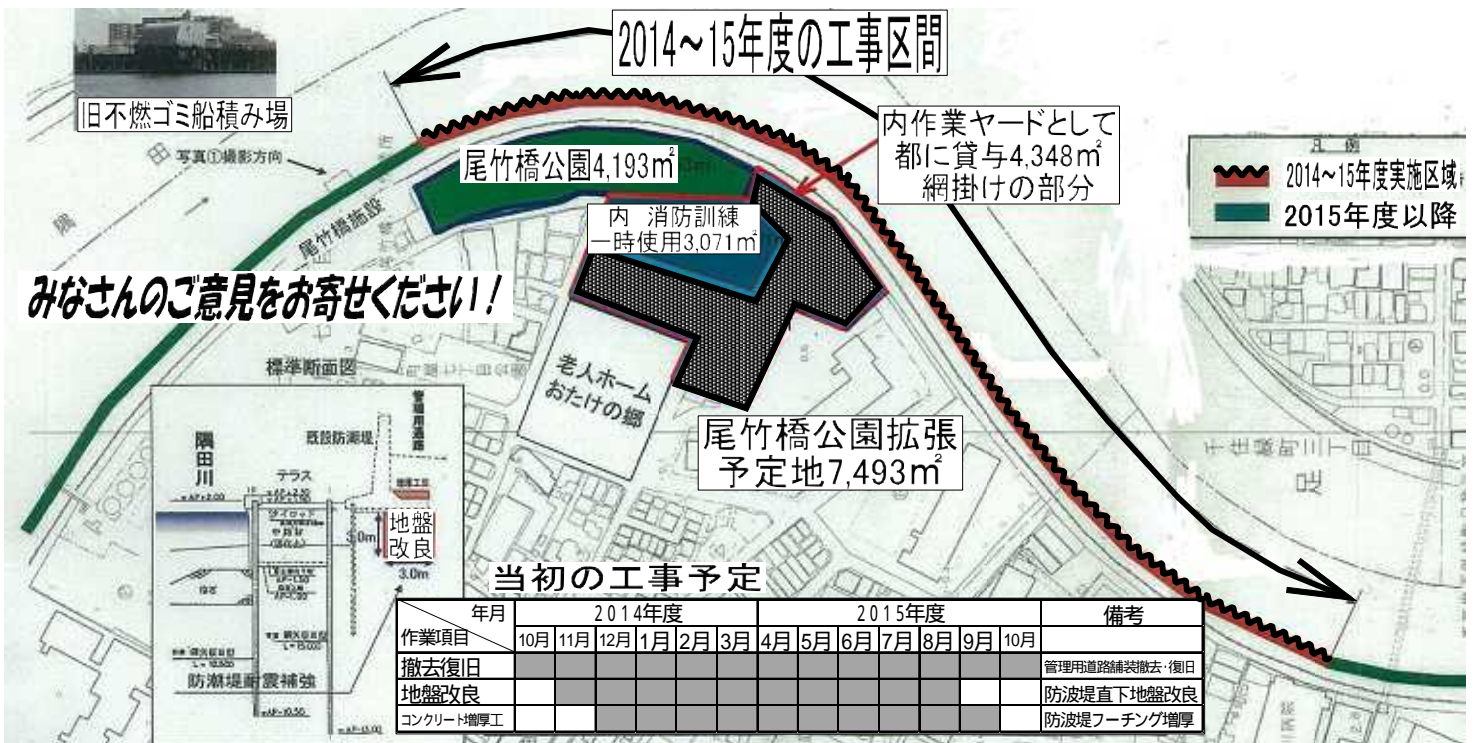
東京都の河川堤防は、都自身の調査でも震度七クラスの地震の場合、全都165kmの耐震化が必要だとされてきました。しかし2年前の時点で68kmが未完成のままでした。3・11大震災以降、共産党

(荒川区町屋の川沿いは満潮時に水面以下)の堤防耐震化が都民を守る最重要課題と追求。都は、2012年に堤防の耐震工事計画を策定し工事に入っています。

住民説明会はこれから
工事中の問題解決を
堤防の耐震化は、必要です。

同時に、工事ともなつて長期間の工事であり工事車両など騒音・振動の対策。尾竹橋公園のダイオキシン類対策など解決すべき問題も多くあります。また2015年度以降区内の他の堤防も耐震化を進めため、都は、公園拡張用地を作業ヤードとして引き続き貸与を区に申し出ているよう

です。都は、2020年までにすべての耐震化を完了させる計画ですから5〜6年かかることも想定されます。いずれにしても住民への十分な説明と合意のもとで進めていくことが必要です。



日本共産党荒川区議会議員

横山 幸次

区政報告ニュース

2014年10月号外 発行 日本共産党区議団

区議団控室 TEL 3802-4627 FAX 3806-9246

E-mail: arajcp@tcn-catv.ne.jp

町屋相談室 荒川区町屋-3-5 TEL&FAX 3895-0504

E-mail: yoko1951@aol.jp

荒川2丁目複合施設… 総事業費何と87億円超!?



複合施設用地と完成予想図



総事業費

用地費16億円

工事費61億円

その他、図書、文学館などの設備関係で10億円

企業名	入札額	落札
熊谷組、坪井工業、東工務店JV	41億4072万円	落札
前田建設	44億2800万円	
大林組	46億2123万円	
長谷川コーポレーション	52億9200万円	
3回目の予定価格 42億1192万円 (2回目入札の予定価格 41億4700万円) 今回予定価格は事後公表 すべて税込みの金額です		

複合施設は、5階建・床面積1万㎡の、中央館機能の図書館(57万冊)、子ども施設、小ホール、吉村昭記念文学館などを併設する大型施設です。

区民のくらしを最優先にした区政執行を

2013年度の決算によると区財政は、決算剰余金23億円の黒字、基金残高・区の貯金が250億円、起債残高・区の借金200億円となっています。区民の暮らしは、消費税8%増税、物価値上げ、賃金の減少など、景気回復どころか景気後退悪化など困難が深刻となっています。来年は、3年に一度の介護保険改定、子育て新制度がスタートするなど区民生活に大きく影響する課題が山積しています。荒川区としてやはり区民の暮らし・福祉を最優先の予算編成が求められています。

予算全体は、マイナス5%のシーリング
大型施設建設は「聖域・見直し無し」?

一方、区が最大の目玉として計画している荒川2丁目複合施設(図書館、文学館、子ども施設)の建設工

事入札は、2回目まで全事業者が辞退で不調、3回目でやっと落札しました。しかし用地費や建設工事、図書館などの設備関係すべて含めて、現在の概算で87億円余、区予算の1割にのぼり、今後さらにふくらむ可能性もあります。

毎年区は、予算編成にあたって、各課の概算要求をマイナス5%の枠内に収めるよう指示してきました。この中で、ふれあい入浴の段階的廃止、オムツ代補助への所得制限導入などささやかな福祉施策も削減されています。また、区の公共施設の多くは、老朽化が激しく大規模改修が必要です。新規建設よりこうした老朽化対策を優先すべきです。日本共産党区議団は、荒川図書館(築52年)の建替えに絞って規模を見直すよう提案して来ましたが、ぜひみなさんのご意見をお寄せください。

みなさんのご意見などお知らせ下さい。この用紙のままファックスでお送り下さい。

共産党区議団 TEL 3802-4627 FAX 3806-9246 メール arajcp@tcn-catv.ne.jp

横浜区議事務所 TEL&FAX 3895-0504 メール yoko1951@aol.jp (メール、電話でも結構です)

よろしければお名前、連絡先をご記入下さい()